

(別紙)

沖縄国際交流体験促進事業ロジックモデル

解決すべき
問題・課題

自立型経済の実現及び沖縄の特殊事情に起因する課題(子供の貧困問題等)の解決

上記問題・課題
と事業との関係

外国語教育関連事業を通じて、卓越した外国語能力及び国際理解力をもつ人材の育成に寄与し、観光、国際交流といった経済活動の活性化の一助とする。

アクティビティ
(事業概要)

アウトプット
(活動実績)

アウトカム

(活動実績がもたらす状況の変化、人の行動変容、その他成果)

(※)時間軸で初期→中長期で設定。

沖縄県在住の
外国人宅への
ホームステイや
日帰り交流と
いった国際交流
体験事業を支援

県内の児童・生徒の
国際交流体験事業へ
の参加

国際交流体験事業の参加者数

初期(※)アウトカム①
外国語学習や国際交流
に関心を持つ児童・生徒
の増加

国際交流体験事業の参加者へのアンケート結果

中長期(※)アウトカム
県内児童・生徒の外国語
能力の向上

英語教育実施状況調査
(文部科学省)

インプット(予算)

沖縄国際交流体験
促進事業(0.4億円)

その他の関連事業、施策

・県内児童・生徒の海外留学派遣事業
(沖縄県)

インパクト(社会的な影響)

県内における卓越した
外国語能力及び国際
理解力を持つ人材の
増加

事業により直接コントロールできない部分

(注1)アウトプット及びアウトカムの点線枠内には、何をもちてアウトプット及びアウトカムを測るのかを記載する。

(注2)アウトカムを定量的に測ることが困難な場合には、代替となる事項をもつてアウトカムを測ることの相当な理由も同枠内に記載する。